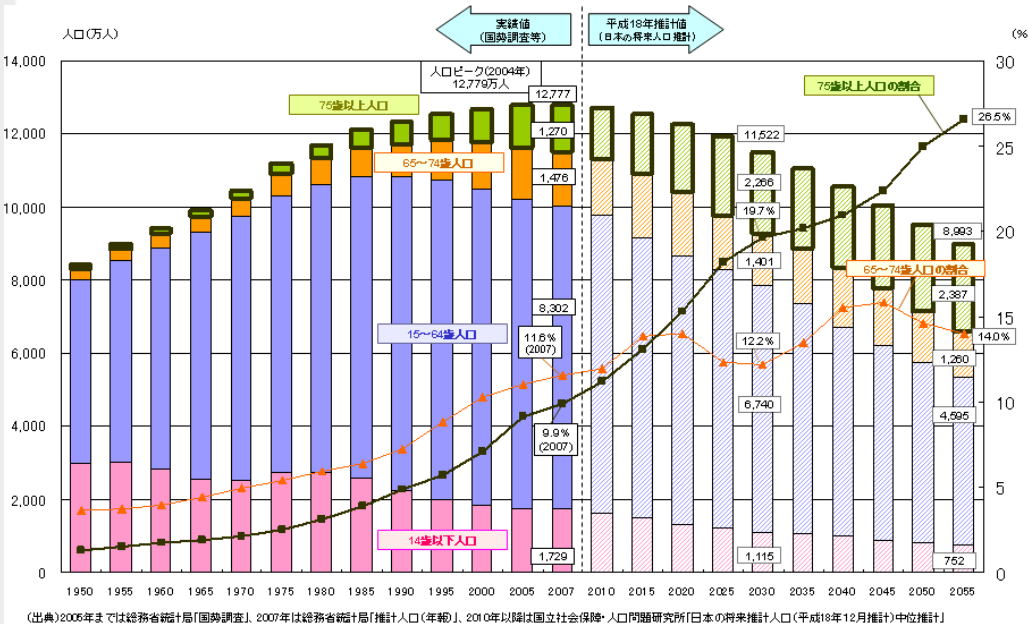


(新店舗オープン)

以前からご案内していた勝田台駅前の新店舗ですが、**6月27日**にオープンすることが決まりました。5月中には何とかしたい思いでありましたが、仕方がありません。ただ、日程が決まったので現在開店に向けて色々な準備をしております。コピー機や電話、通信環境、机、椅子、パソコン等揃えるものはたくさんあります。それ以外で言えば、人も必要になります。弊社においては、久々の求人だったのですが、景気がいづらか改善されているのか、なかなか人が集まりませんでした。そんな中ですが、何とか1人採用することが出来ました。また、ご存知の方も多いと思いますが、弊社で長年勤めていた宮原にも少し手伝わってもらうことになりましたので、大体が午前中の勤務になると思いますが、是非お立ち寄りいただければと思います。



何とか開店の目処はつきましたが、一番大事なことは、店を継続する事です。継続していくには、より多くの人々に知ってもらい、サービスを利用いただき、その対価としてお金を頂き、利益を出していかなければなりません。利益がでなければ継続できない事は当たり前ですが、裏を返せば、人々が弊社の提供するサービスを必要としないとも言えます。

少子高齢化は止められない現実であり、実際上記のグラフを見ても65歳から74歳の高齢者の人口割合は2020年以降、一旦減少しますが、その後は増加の一途でありますし、75歳以上の人口割合にいたっては、ずっと右肩上がり続けており、2050年以降も増加し続けます。そのような状況下でありますから、高齢者向けのビジネスをする人たちは増えております。社会福祉法人、NPOが行っているものもありますが、民間企業も多数進出してあります。ただ、その高齢者にとって本当に必要なものを提供できるかどうか、一番重要なことであり、何らかの需要があるのはおそらく間違いはないけれども、そのニーズもまた多様でありますので、間違えないようにしなければなりません。今回弊社は、住居という観点から取り組んでおりますが、住居といっても多種多様です。老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等は富裕層になるでしょうし、特養などはその逆であるとともに、何といても空きがありません。また、高齢者向けの超高級分譲マンション等もあり、元医者や弁護士等から結構な反響をもらっているようです。

全く問題なく開店が迎えられるとは思っておりません。むしろ、開店してからいろいろな方に来店してもらい、本当のニーズが分かってくるのではと考えております。ご意見やご提案がございましたら、是非ご連絡いただければと思います。

塩田了丈